

京都市の生物多様性と その保全

京都市 環境管理課



生物多様性とは？

「生きものたちの豊かな個性とつながり」のこと

約40億年で様々な
環境に適応・進化



多様な生きもの
(3,000万種とも)



なぜ生物多様性を保全するのか？

~~生きものが絶滅するとかawaiiそうだから？
たくさん生きものがいると楽しいから？~~

私たち人間の暮らしのため

さまざまな恩恵

生物多様性の恵み（生態系サービス）

多様な生態系

多様な種

多様な遺伝子

生態系から受ける恵み「生態系サービス」

私たちの暮らしや事業活動を
支えるもので、4つに分類

基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス

〈生態系サービスのイメージ〉

基盤サービスの上に、他のサービスが成り立っている

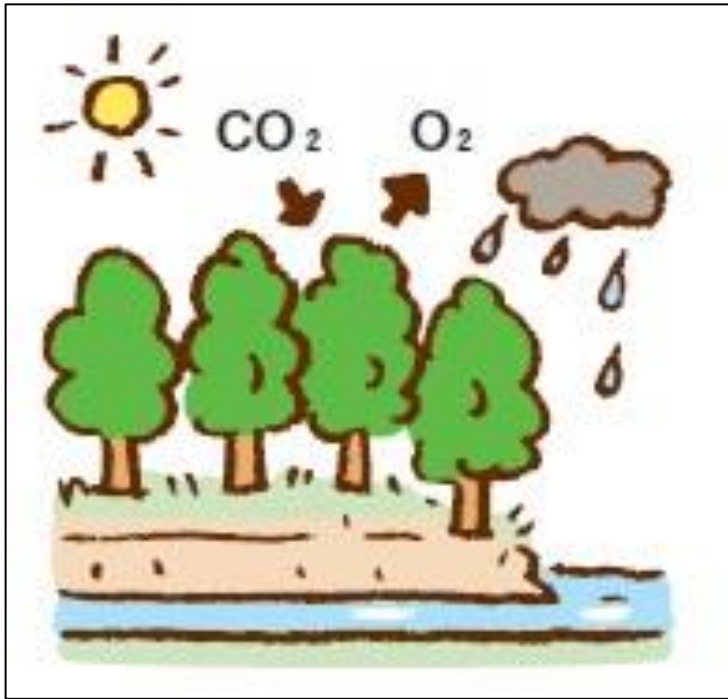
供給
サービス

調整
サービス

文化
サービス

基盤サービス

生態系から受ける恵み 「生態系サービス」



基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス

植物は、空気中の二酸化炭素を吸収し、動物や植物自身の生存に欠かせない酸素を作り出し、安定した気候を生み出す。

安定した気候は、雲の生成や雨を通じて、水の循環をもたらす。

大気や水など、人間を含む全ての生命の生存に不可欠な物質の循環も、自然がもたらす恵みである。

生態系から受ける恵み 「生態系サービス」



基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス

毎日食べている米や野菜，魚，肉，住居に使用される木材，衣類に使用される絹や羊毛，綿，麻は，農林水産業を通じて，森里川海の生態系から得られる自然の恵みである。

私たちの健康を補助する医薬品や暮らしを豊かにする科学技術にも，生物の機能や形態が利用されている。

生態系から受ける恵み 「生態系サービス」



基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス

森林が雨水を貯留し，水が少しずつ流れ出すことにより，洪水や土砂災害といった自然災害の発生が防止され，土壌の水質浄化機能により，安全で栄養豊かな水が供給されることで，私たちの暮らしの安心安全は保たれている。

地球上の主要農作物の75%以上，花を付ける植物の約90%は，昆虫や鳥などが花粉を運ぶことで受粉を手助けされており，様々な生きもののつながりが保たれているからこそ，私たちは，安定した食料供給を受け，美しい花々が咲く景観を楽しむことができる。

生態系から受ける恵み 「生態系サービス」



基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス

豊かな自然は、京都の文化や景観、ひいては観光の基盤を成すとともに、私たちに安らぎや癒しを与え、ハイキングや森林浴などを通じて、身体の健康にも寄与している。

生物多様性の重要性

生態系サービスは、生物多様性があるからこそ、もたらされるもの人間にとって有用な価値を持つ資本であるばかりでなく、心の安らぎや健康、豊かな文化の根源ともなる、極めて重要なもの。

長い歴史の中で、人間を含む様々な生きものの関わり合いによって作られた、かけがえのないものであり、それ自体にも大きな価値がある。

<暮らしとのつながり>

私たちの生活



京都市における生物多様性との関わり

<食文化>



<茶道・華道>



京都市における生物多様性との関わり

<祭事・伝統文化>



<景観，社寺の緑>



京都市の生物多様性の取組・課題

平成26年に策定した「京都市生物多様性プラン」に基づき、取組を進めた結果、生態系等の保全や生物多様性の理解と普及を一定進めることができた。

しかし、依然として次のような課題が残されており、京都市の生物多様性を十分に保全・回復するに至っていない。

【課題】

- ・「京都らしさ」を支える生物資源の減少
- ・里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下
- ・多様な動植物が見られる重要な生息・生育地の危機
- ・地球温暖化の進行
- ・プラスチックごみによる生態系への影響



フタバアオイ



チマキザサ



これらの課題を解決するために…

京都市生物多様性プラン(2021-2030) (令和3年3月策定)

〈プランの構成〉

- 第1章 プランの目指すもの
- 第2章 京都市における生物多様性の重要性と課題
- 第3章 2050年のあるべき姿
- 第4章 2030年度までの目標と施策
- 第5章 評価方法
- 第6章 私たちにできること
- 第7章 推進体制と進行管理



プランが目指すもの

「生物多様性の保全と持続可能な利用」の具体的な方策を示し、あらゆる主体が行動できる指針。

「地球温暖化対策」や「循環型社会の構築」といった環境政策と一体的に取り組を進めていく。

農林業，都市緑化，風致保全，伝統・文化，防災・減災，観光，健康，消費生活等のあらゆる分野の政策との融合を図り、自然と共生する持続可能な社会の実現を目指す。

<目指す方向性>

- ① 「知る」から「行動」へ
- ② 「生物多様性の持続可能な利用」の重点化
- ③ 自然共生社会の実現に向けた変革
- ④ 京都から世界の生物多様性保全への貢献

課題解決に向けた視点

生きものの生息・生育地を守るため、「**生物多様性の保全・回復**」に取り組むとともに、近年、「京都らしさ」を支える生物資源の減少や里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下が進んでいることから、「**生物多様性の持続可能な利用**」に重点を置いた取組が必要。

一人ひとりの生物多様性についての認識が徐々に広まってきてはいるものの、今後は、あらゆる主体が生物多様性の重要性を十分に認識し、「自分ごと」として行動していくことが強く求められることから、一人ひとりの「**ライフスタイルの転換**」を図るとともに、社会そのものを生物多様性に配慮したものとする、「**社会変革に向けた仕組みの構築**」に取り組むことが必要。

① 「**生物多様性の持続可能な利用**」

② 「**生物多様性の保全・回復**」

③ 「**ライフスタイルの転換**」

④ 「**社会変革に向けた仕組みの構築**」

4つの視点で
取組を進める。

プランの目標の体系

《 2050年のあるべき姿 》

自然を慈しみ, 自然に感謝し, 自然と共に, 京都の暮らし・文化・産業が継承・発展される「自然共生のまち・京都」

《 2050年までに達成すべきこと 》

＜視点1＞

生物多様性の
持続的な利用

＜視点2＞

生物多様性の
保全・回復

＜視点3＞

ライフスタイルの
転換

＜視点4＞

社会変革に向けた
仕組みの構築

達成項目：具体的な目標の到達点

《 2030年度までの目標 》

＜目標1＞

京都らしさを支える
生物多様性の持続可
能な利用を図る

＜達成項目＞

京都の文化を支える
生物資源を持続的に
利用する 等

＜目標2＞

生息・生育地と種の多
様性を保全・回復する

＜達成項目＞

多様な動植物が見られ
る重要な生息・生育地
の環境を改善する 等

＜目標3＞

生物多様性に配慮し
たライフスタイルの
転換を図る

＜達成項目＞

生物多様性に配慮し
た消費行動が広がっ
ている 等

＜目標4＞

社会変革に向けた仕
組みを構築する

＜達成項目＞

生物多様性に配慮し
た経済活動を促進す
る 等

各主体にできることの例示（事業者の皆様）

＜目標 1 に対して＞

文化を支える生物資源の「生息域外保全」の取組や本来の生息・生育地の保全・回復の活動に参加する。また、活動内容を発信することで、取組の輪を広げる。

利用不足になっている市内産（木材，竹材等）の生物資源を利用する。

＜目標 2 に対して＞

社員食堂等で地元産の農水産物を購入，消費する。

在来種や生きものを呼び込める種（実のなる木等）を積極的に使用し、敷地内緑化する。

＜目標 3 に対して＞

プラスチックごみの発生が少ない製品・サービスを提供する。

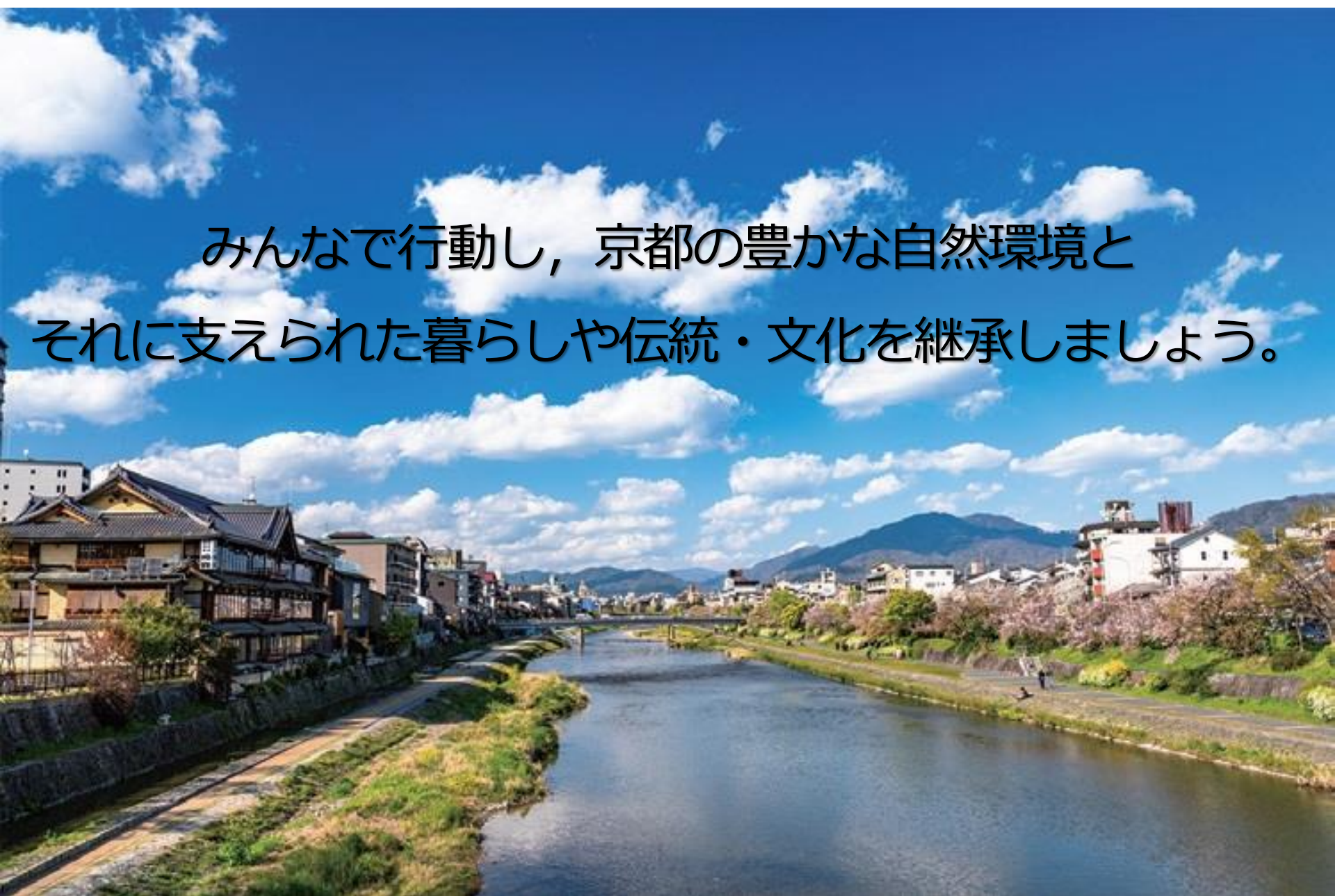
社員に対して生物多様性に関する学びの場を提供する。

＜目標 4 に対して＞

KES等，環境マネジメントシステムの認証を取得する。

市民・団体等が実施する生物多様性の保全活動に対する支援を行う。

みんなで行動し、京都の豊かな自然環境と
それに支えられた暮らしや伝統・文化を継承しましょう。



プランは、ホームページからダウンロードできます。
一度、お読みいただければ幸いです。



<URL>

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyoku/page/0000282470.html>

<二次元コード>



ポータルサイト，SNSでも情報発信しています。
フォローしてください！！

京都市では、**生物多様性保全**を推進しています！
HPやSNSで、京都市の取組、生物多様性と私たちの暮らしとの関わり、
京都の自然に関する情報を発信しています。

公式 SNS



facebook



京のいきもの探偵団
@kyono.ikimono.tanteidan



Instagram



生きものミュージアム
@ikimonomuseum



Twitter



京都エコちゃんねる
@kankyokanri

公式 HP



京・生きものミュージアム
http://ikimono-museum.com

